

# WEB 会報 長崎



## 目 次

○ 新年の挨拶				
・ 会長挨拶	会 長	針 本 久 則	・ ・	3
・ 副会長挨拶	副会長	大久保 昌 幸	・ ・	5
	副会長	前 田 利 孝	・ ・	6
○ 相沢治典名誉会長 黄綬褒章受賞記念祝賀会報告			・ ・	7
○ 相沢治典名誉会長 謝辞			・ ・	10
○ 平成 25 年度新人研修会報告書	研修部長	船津 学	・ ・	11
○ 出前授業				
・ 支部だより	佐世保支部長	山口 賢一	・ ・	12
・ 視察の感想	山口県土地家屋調査士会	広報部	・ ・	14
・ 授業風景			・ ・	15
・ 受講生の感想			・ ・	16
○ 平成 25 年度 九州ブロック協議会 佐賀ゴルフ大会報告書				
	長崎支部	立野 彰弘	・ ・	45

# 平成26年新年のご挨拶

会長 針本久則

皆様、新年明けまして おめでとうございます。

新しい年を迎え、会員の皆様には新たな目標を掲げられ、お進みのことと存じます。

本年も役員一同会務に励む所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

法務局と共催の各種相談会では、相談員の皆様にたいへんお世話になっております。今後とも、調査士制度の充実発展のために行事等への参加ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、この紙面をお借りして、最新の情報をお知らせいたします。

## 1 本会の現状報告

会員の皆様のご協力をいただき、役員一同、本年度の事業計画に基づいて会務及び事業を執行しております。この詳細につきましては、5月23日（金）にホテルオークラJRハウステンボスで開催予定の定時総会でご報告いたしますので多数のご出席をお願いいたします。

### (1) 平成26年1月1日現在の会員数は199名で、会員の平均年齢は57歳です。

さて、法務省がホームページで公開している土地家屋調査士試験についてみてみますと  
23年度は、出願者数 6310名 受験者数 5056名 合格者数 390名  
24年度は、出願者数 6136名 受験者数 4988名 合格者数 418名  
25年度は、出願者数 6017名 受験者数 4700名 合格者数 412名

このうち長崎会の合格者は、23年度4名、24年度3名、25年度2名となっております。連合会では受験者の減少に歯止めをかけるべく「役立つ国家資格、未来へ前進、めざせ土地家屋調査士」のポスターを、各市町村、高等学校、大学などへ配布しておりますので、会員の皆様の母校などへの配布にご協力をお願いいたします。また、土地家屋調査士試験の受験者を増やすためには、まず、現役調査士の私たちが魅力ある資格者であることが第一だと思います。

### (2) 戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書

旧様式は平成25年7月9日以降使用できなくなっているため、旧様式をお使いの方は、新様式を購入して使用してください。また、使用するだけの職務上請求書を携帯して、役所で交付を受けるとなっておりますので戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書管理規定の遵守をお願いいたします。

## 2 全国会長会議報告

### (1) 93条調査報告書

93条の調査報告書の改訂作業は、民事2課との協議をすすめている途中であり、調査報告書作成ソフトの開発などの関係で、改訂の時期は来年度に限らないとのこと。

### (2) 調査・測量実施要領

調査・測量実施要領の改訂は、内容の全面的な改訂は行わず、筆界特定、ADRに関する調査要領の追録を3月に配布する予定です。

(3) 日調連特定認証局移行スケジュール

現在の連合会が運営している認証局の運営費用を削減するために民間認証局への移行が平成25年度の連合会総会で承認されたのを受けて、セコムトラストシステムズと契約しました。

①電子証明書の切替期間 平成26年10月中旬から平成27年2月末日

②現在のICカードからファイルダウンロード方式になります。

③発行手数料 10,000円（現行の未使用期間を考慮して減額があります）

次回会員研修会で詳細について説明いたします。また、ご自分のICカードの有効期限をご確認ください。

(4) 土地家屋調査士特別研修

九州ブロックの受講者数は19名（鹿児島会1名、福岡会5名、佐賀会1名、長崎会1名、宮崎会9名、熊本会沖縄会0名）と、受講者数が少なく、基礎研修も福岡と宮崎での開催となりました。

2月7日から基礎研修会が開催され、4月5日が考査の予定です。

(5) 不在地主の調査について

連合会では、リーフレットを作成し、民事2課を通じて総務省固定資産税課に納税者情報の提供を交渉しております。

おわりに、第2回の研修会より、離島支部に対しweb研修を実施しております。離島支部の出席率が上がった割には、全体の出席率は今までと同じ50%前後であります。特に島原支部、長崎支部、諫早支部の出席率が悪いようです。私たちの資格制度がどのようなものを、もう一度考えて頂き、是非研修会に出席するようお願いいたしまして、新年のご挨拶いたします。

平成26年を迎えて

副会長（境界問題相談センター

ながさきセンター長兼務） 大久保 昌 幸

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より本会の事業につきご理解とご協力をいただき心中より感謝申し上げます。

日調連主催の「全国一斉不動産表示登記無料相談会」や長崎地方法務局主催の『境界トラブル』法務局休日相談所」を初めその他の相談会の相談員として参加された会員の皆様には本当にお疲れ様でございました。

平成25年度も残り僅かとなりましたが、私担当の業務部、研修部、社会事業部および境界問題相談センターながさきも事業計画に対しほぼ順調に達成しているところであります。

さて各部の状況ですが、まず、業務部は事業計画を「調査・測量実施要領の研究」「境界鑑定委員会の事業の推進」「オンライン登記申請制度の対応」「地域慣習の資料収集の研究」の4項目ですが「調査・測量実施要領の研究」については日調連より筆界特定およびADRに関し追録が作成されたとのことですので発刊され次第皆様にお知らせしたいと思います。「オンライン登記申請制度の対応」については、認証局移転に伴うICカードの取り扱いについて第2回研修会においてお知らせいたしました。「地域慣習の資料収集の研究」については、古い資料の収集方法とその保管について検討しているところであります。「境界鑑定委員会の事業の推進」については、委員会のあり方について検討中であります。

次に、研修部ですが、全体研修会を年4回とし離島支部の皆さんの利便性を考慮しウェブ配信により実施いたしました。第3回研修会では、配信を受ける側として皆さんには体験していただきました。また、学校等における出前授業の支援の一環として講義のマニュアル化を検討しております。日調連のADR特別研修への参加者の募集や他会での研修会のお知らせなども実施しております。

社会事業部につきましては、地図作成事業（14条・地籍）に関する各地区の地図整備事業の現状として長崎市地籍調査（E工程）約1.4km<sup>2</sup>、約5,000筆・佐世保市地籍調査（E工程）約0.38km<sup>2</sup>、約1,200筆・島原市地籍調査（E、F工程）約0.83km<sup>2</sup>、約2,600筆・佐世保市14条地図作成事業（基準点作業、立会、細部測量）約0.35km<sup>2</sup>、約1,800筆が実施されております。公嘱協会の社員として携わっておられる会員の皆さんにとって魅力ある業務となるよう公嘱協会と連携を図りながら支援していきたいと思っております。

境界問題相談センターながさきについては、会員の皆様および弁護士会を初め関係団体のご協力に支えられ運営されているところであり感謝申し上げます。今後もなお一層、よりよい運営方法について検討していきたいと考えております。法務局の筆界特定制度との連携についても、随時、法務局筆界特定室との協議を進めて参りたいと思っております。いずれも、会員皆様の日常の業務に深く関わる部門ですので、各部の皆さんと連携し円滑な会務が行えるよう努力していきたいと考えております。

最後に、平成26年が会員皆様にとって良き年となりますようお祈り申し上げますと共に、本会事業につき、ご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 平成26年新年のご挨拶

副会長(財務部長兼務) 前田 利孝

西暦2014年、平成26年を迎えました。長崎県土地家屋調査士会会員の皆様、関係各位の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年、の定時総会におきまして副会長に選任いただき、総務部・財務部・広報部を担当させていただいております。

昨年はしばらく実施されなかった親睦旅行を企画し、募集を行ったところ、15名の会員・ご家族様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。今年においても引き続き何らかの形で実施したいと考えています。

さて、世の中はアベノミクス効果でしょうか？また増税前の追い込みでしょうか？例年より若干景気が良いような感じがしております。まだ集計は出ておりませんが、長崎県の、また土地家屋調査士業界全体の受託件数・金額ともに伸びてきているのではないのでしょうか。

このような状況下、総務・財務・広報担当として気になるのは、忙しさのあまり業務への注意が損なわれないか、決められた調査事項を怠ったりしてはいないかということです。

我々は専門家であり、それ故に様々な恩恵がある反面、専門家としての責任や倫理が問われます。うっかりした、知らなかったでは済まされません。いつもであれば当然行うべき注意点・調査事項を、つい忙しさにかまけて見落とししたり疎かにならぬ様、いま一度注意し、業務を行なっていただきたいと思います。

今年も長崎県土地家屋調査士会会員の皆様、関係各位の皆様のご健康、ご多幸、各事務所のご繁栄を祈念いたします。

# 相沢治典名誉会長の黄綬褒章受賞記念祝賀会報告

広 報 部

平成25年5月に本会名誉会長の相沢治典氏が黄綬褒章を受章されました。この受賞祝賀会が11月30日、長崎平安閣サンプリエールにおいて、日本土地家屋調査士会連合会の林 千年会長、田上富久長崎市長のほか多数の来賓をお迎えして、100余名の出席者のもと盛大に開催されました。

祝賀会は、発起人の一人である大久保昌幸副会長の開会の言葉で始まり、発起人代表 針本久則会長の挨拶のあと日調連 林 千年会長、田上富久長崎市長、全調政連 八瀬渉一副会長の来賓祝辞に続き、来賓の紹介がされました。

その後、祝電披露、相沢治典氏の経歴紹介、花束贈呈、お祝い品並びに記念品の贈呈に続き、受賞者の相沢治典氏が謝辞を述べられました。

続いて日調連 竹内八十二顧問の乾杯の発声により祝宴に移りました。余興では、長崎吼獅会メンバーによる中国獅子舞、平戸支部会員の川尻修治氏による恒例のバナナの叩き売りでおおいに盛り上がり、日調連 今村喜蔵元副会長の万歳三唱により、盛会のうちに閉会しました。

相沢治典名誉会長本当におめでとうございます。





## 黄綬褒章を受章して

平成 26 年 2 月 18 日

相 沢 治 典

平成 25 年 4 月 29 日、春の表彰において私が「黄綬褒章」を受賞する旨の発表があり、その伝達式は同年 5 月 16 日であるとのことでした。

私は、昭和 62 年長崎支部の幹事に推薦されたことをきっかけとし、平成 5 年の本会役員から平成 23 年に退任するまで、24 年間の長きにわたって長崎県土地家屋調査士会の会務に携わってまいりました。その間支部幹事を 2 期 4 年、支部長を 1 期 2 年、経理部長を 2 期 4 年、企画部長(現在の名称は業務部長)を 1 期 2 年、総務部長を 1 期 2 年、副会長を 2 期 4 年、会長を 3 期 6 年とほぼ全域の役職に関わってきましたことは、私にとって未知の経験をさせていただいたことと共に、多くの会員さんと身近な懇親ができたことが、なによりも大きな財産として私の中に残ることとなりました。

中でも、会長在任中は規制緩和に伴う制度改革によって、土地家屋調査士制度が大きく変革する時期に当たり「筆界特定制度」や「ADR」を現場に密着させる作業は、全会員の協力なくしてできるものではありませんでしたが、無事に完了できたことは一重に会員皆様のおかげでありました。

さて、「黄綬褒章」の伝達式は平成 25 年 5 月 16 日法務省内において、谷垣法務大臣より伝達された後、受賞者と付添人合わせて役 300 人は手配されたバスで皇居におもむきました。

私も本来なら家内が付添うところ、丁度の時期に娘のお産の入院と重なり一人での参加でしたが、天皇陛下のお言葉をいただき感激であるとともに幸せな一日を過ごさせていただきましたことは、関係者皆様ご一同のおかげであり、重ねて厚く御礼申し上げます。

今後は「黄綬褒章」をいただいた立場に恥じない行動と共に、長崎県土地家屋調査士会の明るい未来の為に、微力を尽くすつもりでありますので、なお一層のご指導をお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

日本土地家屋調査士会連合会 九州ブロック協議会

平成 25 年度 土地家屋調査士新人研修会報告書

研修会場:ホテルニューオータニ佐賀

平成 26 年 2 月 1 日～平成 26 年 2 月 3 日

報告者:研修部長 船津学

上記の通り九州ブロック新人研修会が開催されました。

3日間に渡る研修会にもかかわらず受講生たちは真剣に講義に聞き入っていました。

また、今年を受講者は平均年齢が高めで最高齢者は72歳でお二方いらっしゃいました。

長崎会からは2人の新人が受講されてうち1人は登録を視野に入れておられます。

私船津も講師として2日目の講義6 調査測量実施要領 第1編 通則 と 講義7 調査測量実施要領 第2編 土地の調査測量実務(納品書のサンプルと調測要領を関連させて) の2コマを担当しました。

近年の合格者、登録者の傾向として未経験者の割合が約半分であり、他業種からの受験者割合が増加している傾向にあります。

実務未経験者の登録に関しては会としても研修等での何かしらの対応を検討する必要があると思われました。



報告者

長崎県土地家屋調査士会佐世保支部

支部長 山口賢一

## 支部だより

事業名：県立鹿町工業高等学校出前授業

日時：平成26年2月13日（水）10:55～14:20

参加者：支部 山口賢一 竹永智彦 小川寛

本会 松本忠寿 船津学 大島雅幸

公嘱協会 宮脇成芳

鹿町工業高等学校での出前授業を、土木部技術科2年（36名）を対象に行いました。従来通り、3校時の出前授業です。今回の出前授業には、次年度に地元高等学校での出前授業を計画されている山口県土地家屋調査士会より、井上哲也副会長、清水浩二業務部長、豊川奎植広報部長をはじめ7名で、出前授業の視察にお越しになりました。

出前授業の内容は下記の通りです。

総合司会 松本業務部長

挨拶の後、社会人の立場から学問を「学ぶ（学ぶ姿勢）」という事について、説明がありました。

### 1校時・・・座学

日調連作成の「土地家屋調査士 THE movie」放映後、船津研修部長より、「土地家屋調査士の業務」、「試験内容」、そして「土地家屋調査士の魅力」についての講義です。特に、「土地家屋調査士の魅力」については、経験に基づく講義で、生徒達がより土地家屋調査士について知りたいと思わせる内容でした。バトンタッチして山口より、「測量の起源」、「伊能忠敬の佐世保測量」、「全国の不動産の地価」についての説明です。「全国の不動産の地価」については、1㎡の土地の価格をまず高校近くの江迎バスセンターで考えてもらい、少しずつ範囲を広げながら、全国各地の土地の価格を思い思いに発表してもらいました。

### 2校時・・・野外測量実習

校内2カ所に設置している金属鋸（各6ポイント）を測量します。

生徒を器械班、メジャー班、歩測班のそれぞれ2班の計6班に分け、観測を行います。器械点は決まっています、器械点1点から全ての金属鋸は見えません。山口会の皆様にも実習を体験して頂きたかったので、サプライズで平板観測を

行って頂きました。平板観測を行った事がない先生方もいらっしゃいましたが、観測を始めると土地家屋調査士の血が騒ぐのか、皆様真剣に取り組んで頂きました。

### 3校時・・・図面作成・辺長、面積計算

2校時に観測したデータを基に、図面（S=1/100）を作成します。器械班は、CADを使わず、観測手簿を基に関数電卓での座標計算を行いました。

そして、それぞれの辺長、面積の結果を比較しました。誤差はあるものの、私は、歩測班が測った観測値が佐世保支部で測った結果（TS使用）と過大な誤差が無く、図面を書き上げた事が印象的でした。

実習の最後は、1校時で話した土地の価格に戻ります。「測った土地の面積が、もし江迎バスセンターにあるとしたら、その土地の価格は？佐世保四ヶ町では？長崎浜町？福岡天神？渋谷？銀座？」銀座での価格は70億円になり、生徒達は声に出して驚いていました。

土地家屋調査士は、国民の大切な権利（財産）に関わる仕事である事、その仕事の重要性を分かって頂けたと思います。そして、もう一年経つと就職が決まり故郷を離れていく生徒達もいるので、「故郷を懐かしく思う時がやってくる。故郷とは大切な思い出の場所で、不動産とは心の財産でもある。その財産に携わる仕事が土地家屋調査士です。」との話で締めくくりました。

最後に、松本業務部長より総括して頂き、全国の土地家屋調査士の活動についてお話頂きました。そして、今回生徒達から書いてもらう感想文が、日本の取り組みとして、今年6月にマレーシアで開催される測量技術者の国際会議FIG（International Federation de Geometres）で発表されることをお伝えされました。

佐世保支部では、今後も出前授業を通じ、多くの方々に土地家屋調査士について知ってもらい、特に土地家屋調査士を目指したいと思う若者が生まれてくれるよう、活動を続けていきたいと考えています。

鹿町工業高等学校、そして土木技術科の先生方には、長時間に渡る出前授業を快く受け入れて頂き、心から感謝申し上げます。

最後に、山口県土地家屋調査士会の出前授業の成功を祈念しまして、佐世保支部からの寄稿と致します。

以 上

## 出前授業の視察の感想

この度、鹿町工業高等学校・土木技術科への出前授業に山口会・広報部を参加させていただきありがとうございました。

山口会・広報部においては、来年度より『土地家屋調査士の知名度アップ』の一環として、出前授業を事業計画の重要項目と考えており、佐世保支部が取り組んでおられる出前授業を真剣に見学させていただきました。

2年生対象ということで、生徒さん達がどういう反応をするか注目していましたが、佐世保支部の方々がかこれまで蓄積された経験・ノウハウを随所で感じることが出来ました。

特に座学時に「地価」の話をされてから、生徒さん達が目を輝かせ活発に発言しはじめ、一気に一体感が生まれ、その後の外業（測量実習）・内業（測量図作成・求積等）へとすばらしい流れの出前授業でした。

やはり生徒さん達とのコミュニケーションが重要なのだと、痛感しましたし、何より生徒さん達に『土地家屋調査士』という職種があることが伝わっただけでも将来を見据えたとき、非常に価値のある試みと思いました。

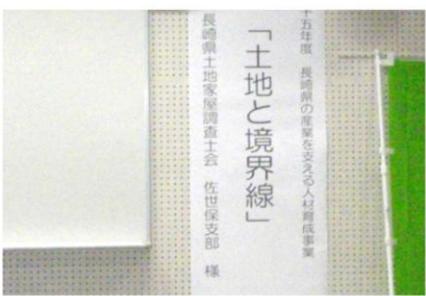
これから我々山口会において、出前授業を実現していく中で、貴重な体験をさせていただいたと思います。

佐世保支部・山口支部長さんはじめ関係スタッフの皆様の温かいおもてなしに感謝いたしますと共に、山口会での出前授業に活かして参りたいと思います。

(追伸)

懇親会においても、お疲れのところ我々のために、夜遅くまでお付き合いいただき、おかげさまで楽しい～、楽しい～懇親の席になりました。

# 出前授業風景



「土地と境界線」

【感想文】

民間講習で土地家屋調査士の元が来ると、  
初めて聞く言葉ではありませんでしたがどうい  
う事をするのかたくさん知れて良かった。各県  
によって1m×1mの土地の価値が違い、隣の  
住んでいる町や村内や東京などと大幅に  
違いびっくりしていました。バブル時代にはとても  
大きな価値でした。土地の境界線の話も  
ありました。どこまでが自分の土地かわからない場合  
に調査士の元が必要だとわかりました。とても  
優しく教えてくれて頂きありがとうございました。  
これからの生活にいかします。

「土地と境界線」

【感想文】

昨日、初めて土地家屋調査士という名前を知りました。初めて聞く名前でも何をする人たちなのか、全く分からなかったけど、境界を調べたりする仕事だと知ってからいいなと思いました。自分たちの班は巻尺で測量をしました。巻尺で測るのは意外と簡単でした。計算では器械とかの班よりも一番正確だったので良かったです。佐世保の1㎡の値段とか教えてもらったけど意外と高いんだなと思いました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今回は「土地と境界線」というテーマで土地家屋調査士の方々から、自分達が何をしているのか、どんなお仕事をされているのかを教えてくださいました。自分は最初、土地家屋調査士の仕事について、おおまかな想像をしていましたが、講師の方々が作成して下さった、動画の説明のおかげで土地家屋調査士の方々がされているお仕事と土地の値段を知ることができました。また、実習で外業と内業を行い土地家屋調査士のお仕事を体験をすることができ、測量という仕事の一つを知ることができました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

土地家屋調査士という職業を私はこの講話で初めて知りました。資格を取れば土地家屋調査士になれるということだったので、インターネットで調べてみようと思いました。私たち土木科は普段測量ではトータルステーションやレベルなどをしているので、歩測りや巻尺で初めて距離を計りました。計算では、外で計った数字を大きな紙に書き写し、三角形の高さを出し、面積を出しました。とてもいい勉強になりました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今日は土地家屋調査士の方が来られました。土地家屋調査士は以前に測量大会の前に測量を教して下さいました。しかし測量以外にどんなお仕事をしているのだろうと思いました。境界線を引いたりする仕事だと初めて知りました。土地家屋調査士の方が土地の値段の問題を出されていて東京の渋谷の1×1mの土地が2700万円もすることにとってもびっくりしました。外業では器械、巻尺、歩行に分かれて測量を行いました。学校で学習しているのだからなんとなく分かりました。計算では面積を出す計算をしました。計算して土地家屋調査士の方が測量して計算に出したのとちとだけ誤差が出ていました。自分は他の場所の土地の値段をもっと知りたいなと思いました。とてもいい勉強になりました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今回の講話で土地家屋調査士とはどのような仕事なのか

わかりやすく説明してくださって本当にありがとうございました。

とくに1㎡の土地を買うのに東京ではとんでもない額のお金が

かかることを知りとてもびっくりしました。自習の時間では、

ポリスリーの楽な立て方も難しい場所の立て方なども教えて

もらいやはり職場の人は仕事が早いと思いました。

計算の時間ではまだわからない私たちにわかりやすく説明して

くださったのにスムーズにできたけど誤差が多くてたいてい残念

でした。今日教えてくださったことをわすれず今後の学校

生活にいかしていきたく思います。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

昨日の民間講師では、土地のねだんから土地家屋調査士  
のことなどいろいろ聞けてとても勉強になりました。土地のねだんで  
は、同じ広さの土地でも何万円から億までとこんなちがうんだとおどろき  
ました。土地家屋調査士の試験は国家試験で合格率が7%とひく  
難いんだなと思いました。また内業の計算では、電卓の使い方で座標の  
もとめ方もあるんだなと初めて知りました。また図のかきかたや面積の計  
算などもわかり、こんごにいかせる勉強ができたと思いました。計算した  
けが誤差はけっこうでしまいやっぱりむずかしいなと思いました。今  
図のことをいかにして測量ではもてわかにそして早くしたいと思いました。  
こんごのしゅうしょくにもいかにしていきたいと思います。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今回の講話では、実際に測量をして見て

測量にもいくつかの測り方があるんだと

ということがわかりました。自分は器械で

測っただけと器械でも少しの誤差がある

んだとということがわかりました。あと同じ

場所を測っても同じ結果はでないという

ことがわかりとてもいい勉強になりました。

自分は土地家屋調査士についてあまり知らな

かったけど今回の講話で少しでも土地家屋調査士

についてわかったのでもよかったです。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

土地家屋調査は、土地の面積を測るだけの仕事だと思っ、ていましたが、土地の境界線や、土地の一坪の値段を計算したりと大変な仕事だと思、いました。境界線を調べるために、200年前以上の土地図を調べるたりするのでも、いいと思、いました。自給は将来、イタリアかスペイン、ブラジルのどこかにジムを建てたいので、土地の価格を安くして、建てたいと思、います。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

昨日の実習では、家屋調査士の方々に指導してもらいながら測量をしました。自分達の班はトータルステーションで測量しました。他の班よりも少し時間がかかってしまいました。トータルステーションよりも、テープや他の測量の仕方をしている班の方がすぐに終わっていましたが午後からの測量で得た数値を計算してまとめた結果、器械で測量した班よりもテープや他の方法でやった班の方が誤差が大きかったです。もし、高い土地を測量した時、誤差を多く出したとそれだけで金がかかるようなので、器械で測量した方が、また安定な値が出せようです。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

昨日は、土地家屋調査士さんの話して始めて聞いたようなことは「ガリでいい勉強になりました。その話しの中でも、土地の値段の差がかなりあることを教えてくれました。江迎などの値段は、そんなに高くはないのに、佐世保や福岡、東京といったところになると、100万近くになっていくことがとてもすごかったです。その後は、外でトータルステーションなどで、測量をしてみました。その後の計算が今までやったことのないような計算をやったので、とても楽しく思いました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今日の民間講話では初めて土地家屋調査士会というものを知りました。講話では1㎡あたりの土地の値段について学びました。土地の値段は場所と景気で何十万 何百万も差があり驚きました。外での測量では、トータルステーションで測量をしました。測量の時にトータルステーションを据え付ける所に溝と段差があり据え付けに時間がかかりました。内業の方は土地家屋調査士会の人にまかせっきりになっていました。計算方法があまりわかりませんでした。とても良い経験ができました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今日は3校時に土地家屋調査士の仕事を初めて聞きました。まずは不動産と動産のことについての話しがありました。不動産は日頃からきいていたので詳しい分かっていました。動産は、  
どういものがあるかという質問は難しかったです。そのあと聞いた、  
えびのえバスタード佐世保、長崎、福岡、F&Eの土地の  
値段を聞いたときはビックリしました。そのあとは外でトータル  
ステーションを使って、土地の面積を実際に測量をしました。  
した。まずは北を測り、基準点を7つくらい計りました。  
そのあとは、4校時測量したデータをもとに面積計算を  
しました。計算がとてゴチャゴチャしていても難しかったです。

「土地と境界線」

【感想文】

今日の民間講話を聞いて土地家屋調査士がどれだけ必要とされているのかわかることができました。外業では歩測をしました。歩測は点から点を歩いて測り、図を作成して面積を出すという作業でした。でも建物でふさがっている所はとても難しく苦労しました。土地家屋調査士の方々の事は最初全く知らなかったけど民間講話を受けてとてもいい仕事だと思いました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今日の講話を聞いて初めて土地家屋調査士という仕事があることを知りました。私の班は歩測をしました。今まで歩いてる測量をしたことがなかったのので、歩測と聞いてもどんなことをするのか、わかりませんでした。内業では、みんなの値いを使って計算をするまでは、したことがあったのですがその値いで図まで作るとは思っていませんでした。この講話を聞いて、仕事には多くのものがあることを知りつことができた。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

私は、初めて土地家屋調査士という名前を聞き  
ました。私は初めは、どういう仕事なのかと思ったけど、  
ビデオを見て理解することが出来ました。都会にい  
けばいく程、 $1m \times 1m$ の土地の値段が高くなっていくこと  
に驚きました。私は、実習では歩測をしました。歩  
測では、最初の一歩と同じ歩幅で歩くということが  
難しいなと思いました。午後からは、計算をし、製  
図をしました。製図では、きちんと書くことが出来たけど、  
結果は、誤差がひどくプロが測り、たものとは全然  
違いました。私は土地家屋士の資格を取りたいと思いました。

「土地と境界線」

【感想文】

土地家屋調査士という仕事を初めて聞きました。活動内容を聞いていくうちに、大変な仕事なんだなと思いました。僕達のクラスは外業では歩測をしました。測量というのは、器械をつかうものだと思っていたので、新鮮な気持ちで望むことができました。内業では、製図の作成をしてその面積を求めました。器械で測定した面積の値と、歩測で求めた面積の値とでは、大きな違いがあって驚きました。今回の講話は、初めての事はかりて、充実した時間を過ごす事ができました。とても楽しかったです。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

民間講話で初めて土地家屋調査士という職業を知りました。その仕事は人の土地をめぐらして知ることでございまして、土地の値段で長崎と東京ではとても大きな額の差があると思いました。今回初めて歩測をしました。歩測では自分が歩いて歩数で測るとわかりました。一歩一歩の長さで測るので感覚をつかむのが難しかったです。内業では計算をして図を作成して面積を求めました。他にも器械など色々な方法があったのでやってみようと思いました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

土地家屋調査士の講話で測量にもいろいろな計りかたがあることがわかりました。初めは土地家屋調査士は何をしていなのかがあまりわからなかったけど、映像をとおして人の土地がどこまでなのかを調べる仕事なんだとわかりました。土地は場所によって料金が違うことを知りました。町が多いところほど高いんだなと思いました。実習では自分たちの班は歩いて測量をしました。班全員で歩いたのを平均して長さは求めました。かんたんな計りかたでしたけど、正確には計れないのでこの計りかたはあまり使わないことがわかりました。ほかの測量のやりかたもしてみたいなと思いました。

「土地と境界線」

【感想文】

昨日の講話を聞いて私は土地  
家屋調査士の仕事をすることが  
できました。また講話中には話し方  
をくふうしてきんちょうさせないようして  
いた所もとてもよかったですと思いま  
した。実技でもさまざまな測量で  
普段はできない事ができて  
とてもじゅうじゅうしていた1日だっ  
たと思います。自分も機会があ  
らば土地家屋調査士をお願いしたいと思います。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

今回は土地家屋調査士の方が来ていただきました。僕は今まで土地家屋調査士の事は知りませんでしたが、今回の講話で初めて知ることができました。他にも測量では、歩測や巻尺など測量にもいろいろな種類があると知り、器械だけではないと分り、とても驚きました。午後からは午前にも、外で測量で測って出た結果をもとに紙に図を描きました。紙に図を描く時に三角スケールとコンパスを使って描きました。図を描くのは、以外と難しく、角度が失敗しうくなりましたが無事に描き終わり、面積まで出すことができたのでよかったです。今回はいい学習になったと思いました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

僕は初めて土地家屋調査士という職業  
を知りました。土地家屋調査士は国家試験  
で受かる確率は7%と低くてなれるのは  
難しいと思いました。巻尺で測量をしました。  
巻尺での測量は初めてでしたが仕方を教  
わってできるようになりました。その後  
は面積計算をしました。コンパスや  
三角定規を使って紙に書きました。  
昨日の事で測量がうまくできる  
ようになれて良かったです。

「土地と境界線」

【感想文】

今回の民間講話で土地家屋調査士という名前を初めて知りました。クラスでも知っているのは1人だけであまり知られていない職種なんだなと感じました。だけど土地や建物を守るおもみのある仕事なんだと思いました。ビデオなど測量や製図はわかりやすく教えていただいていたのでとてもためになりました。学んだことをいかして進路を決めていきたいです。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

先の方は土地家屋調査士についての講話と実習  
をしました。初めて土地家屋調査士という仕事と名前  
を聞きました。人々が土地の配分などで悩んでいた  
りした時に、土地家屋調査士が土地を調べてくれたり  
測量などで正確に調べてくれて人々をたおしてくれま  
す。あと他の事もなりました。それは県や地域で土地の  
値段が全然ちがうというのにおどろきました。そして実習は  
巻尺を使って点から点の長さをはかてそのはかた点の面  
積を求めました。それで初めての製図作業もありました。  
今回の授業はどれも自分のためになって良かったです。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

昨日、土地家屋調査士の人たちが僕たちのために1日かけて、土地家屋調査についての講話や測量の実習を一諸に手伝ってくれました。最初は、土地家屋調査士とは、どんな仕事をするんだと思っていましたが、講話や調査士の方々の話を聞いて、この仕事はとても、人々の生活に役立っているんだとすごく思いました。昨日で学んだことや調査士の方々からの話を聞いたことをこれからの就職活動に活かせたら、とてもうれしいと思います。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

僕たちが「測量」と聞いて、思い浮かぶのはトータルステーションやレベルが王道でした。ですがこの土地と境界線の講話や実習で考えが変わりました。僕がした測量は「歩測」という測量でした。歩測は、僕たちが思っていた器械は何も使用せず、歩くだけです。でも、ただ歩くのではありません。だいたい1m間隔で歩かなくてはなりません。思っていたよりおずかしかったです。それと、たった1m×1mの土地がすごくお金がかかるということがおどろきでした。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

昨日は、初めて土地家屋調査士会の講話と実技を行いました。講話では、土地家屋調査士という仕事がどんなものかを初めて知りました。土地の値段は場所によって違っていたので他の場所の値段も知りたいです。実技では歩測を行いました。1歩で1mの感覚がなかなか難しかったです。午後からは製図をしました。初めての作業でしたが慣れたらスムーズにいけましたが、少しズレがあったのでもっと正確にしていきたいです。この1日で学んだことは、とても貴重な経験だったので、もっと勉強して土地家屋調査士会に入れたらいいなと思いました。とてもありがとうございました。

「土地と境界線」

【感想文】

昨日は、土地家屋調査士の方に歩測のやり方を教えてもらいました。自分達はだいたい一歩を1mくらいで歩く練習をして距離を出しました。歩幅を合わせるのが思っていたよりも難しかったです。でも、他の人と自分の歩幅が結構一緒に歩数も一緒にくらいだったので良かったです。そして実際に歩測してきた距離を $\times$ にして面積を計算してみると、他の班の出した面積と同じくらいだったので良かったです。また歩測をしたいと思いました。

## 「土地と境界線」

### 【感想文】

昨日は、土地家屋調査士の方々が来て土地家屋とは土地と境界線の調査をして土地の分胆をして境界線を作る人たちの事を言います。それと、動産と不動産の違いは動産は車や机の事をいいます。不動産は家などの事をいいます。そして、土地の値段は地域ごとに違い吉井は2万くらいですが、東京の銀座は想像もできないくらいの値段でした。その後は、実習で実際に測量をし歩測をしました。とても難しくておぼろげな感じでしたが、測量の興味が深まりました。

# 平成25年度 九州ブロック協議会

## 佐賀ゴルフ大会報告書

長崎支部 立野彰弘

平成25年10月28日（月曜日）佐賀ロイヤルゴルフクラブにて、日本土地家屋調査士会連合会九州ブロック協議会佐賀ゴルフ大会が開催されました。

私自身は、九州ブロック協議会ゴルフ大会に参加するは、平成21年の鹿児島会、去年の長崎会、そして今回の3回目になります。

まずは10月本番に先立ち、前年度開催長崎会と今年度開催佐賀会の親睦コンペが平成25年8月4日（日曜日）に開催されました。

私は年間を通じてコンペに参加する機会などそれほどなく、自分の腕を試すチャンス。打ちっぱなしで練習、ネットでコースチェック、睡眠前にイメージトレーニング・・・準備完了し当日にのぞみました。

そして、当日スタートホール、緊張のティーグラウンド、空は雷ゴロゴロ・・・いよいよ自分の順番、ティーショットを打ち終えた直後、キャディさんがやってきて雷が近づいているとの事で一時中断。再開後、1番ホールを終え、2番ホールティーショットを打ち終えた直後、またしてもキャディさんがやってきて一時中断。その後、まさかのゲリラ豪雨・・・中止になりました。

中止は残念ですが自分自身初めての経験。その日コース料金はかからず、9月21日（土曜日）に延期になりました。

さて、9月21日を迎える準備、打ちっぱなしで練習、ネットでコースチェック、睡眠前にイメージトレーニング・・・準備完了し当日にのぞみました。

結果はというと最近の自分の平均より少し良いスコアで上がれ、10月本番の練習ラウンドと考えれば上出来。

さて、10月28日本番迎える準備、打ちっぱなしで練習、ネットでコースチェック、睡眠前にイメージトレーニング・・・イメージトレーニングをしすぎたか前日の布団の中では、パーとバーディしか出てこない・・・ちょっと危険かも。

いよいよ10月28日本番、アウトスタート12組、インスタート12組、総勢92名で盛大に開催されました。

私はアウトスタート9組目。同伴者は福岡会の庄籠さん、熊本会の平松さん、大分会の志賀さんで8時59分スタート。

まずは、スタートホールで記念撮影、前日イメージトレーニングによる睡眠不足のせいか、太陽が眩しい・・・。

緊張のスタートホール、トリ。2番ホール、トリ、3番ホール、ダボ・・・前日のイメ

ージと違いすぎる・・・

ハーフが終わり緊張はとけましたが、今日のゴルフは終わったな・・・

同伴者も調子が上がらない様子。

さて、昼食で気持ちをリセット。他会の人との交流は、このコンペの醍醐味のひとつ。平松さんはベテランの先生、庄籠さん、志賀さんは同世代のようで、最近の仕事など意見交換（雑談）。

後半に入り、終始リラックスムード。4人とも前半よりショットも雑談も硬さがとれ、調子が上がり和やかな雰囲気のままホールアウト。

その後、表彰式が始まり団体優勝は長崎会連覇ならず、自分も57位で商品なし。

同伴者からニアピン賞が出て嬉しい気持ちになれるのは、ゴルフを通じ時間を共有出来たためでしょうか。

また来年、他会の人との交流や以前の同伴者との雑談を楽しみにして、少し腕を上げ、出場したいと思います。